

郵便はがき



〒四二六〇〇二五  
藤枝市藤枝四二一七  
大慶寺 大場正昭  
Tel 〇五四六四一〇二二九  
Fax 〇五四六四四一六二二六

## お施餓鬼会 せがきえ

年一回、万物の霊に供養し感謝する法要です。お忙しい中ですが、ご参列お焼香をお願い致します。

記

●日時 8月8日(土曜日)

午後1時 法話

午後2時 お施餓鬼法要

付施餓鬼塔婆供養



●各家先祖の塔婆供養を致します。

・8月7日までにお申込下さい。

・付施餓鬼塔婆代は1本 2千円

・初盆塔婆代は 3千円

(申し込み例)

〇〇家先祖代々之霊 〇〇信士之霊 等

電話、FAX、Eメールで受付けます。

Eメールアドレスは [lohba@emmyozan.org](mailto:lohba@emmyozan.org)

静岡市の柴田ちゑ様、藤枝市の山本好子様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。ここに篤くお礼申し上げ、法話箋作りの資とさせて頂きます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申込は寺まで。

「ミユキ」というメダカ

ここのとこ、玄関前のスイレン鉢を覗き込む人が多い。丸いスイレンの葉が浮かび、その間をメダカが泳ぐ。暑い最中、涼しげにさせてくれる。鉢は2つあり、2種類のメダカがいる。

片方には全身朱色の楊貴妃という品種のメダカ。そしてもう一方には、背中が光る「ミユキ」(写真参照)という品種のメダカ。「ミユキ?」どこかの若い女性の名前みたいで、皆さん「ミユキ」ですかと思わず笑う。

最初にこのメダカを知ったとき、メダカらしからぬ名前と不思議に思った。こういう時は調べるのが大事。

この名前は、愛媛県の菅高志さんが固定化した品種で、娘さんの名前からとったそう。なるほど、それなら合点がいく。

このメダカは普通種を改良したもので、世に出たのが2007年の9月。光るが故にあつという間に有名になってしまった。さらに、笑ってしまうのは、背中の光の



大きさにより5段階に分けられている。

「点光」は背びれ付近に点ほどの光。

「弱光」は背中の中1/3までの光。

「中光」は背中の中半分程度の光。

「強光」は背中の中3/4までの光。

「スーパードヒカリ」は強光以上の光。

ということになると、写真の「ミユキ」は強光のメダカか? 寺では3年前から飼っていて、毎年子供が生まれても、もとが普通種なので環境にも強く、どこでも育つ。裏の池でも普通のメダカと一緒に泳いでいる。珍しい種類なので、たくさん増えたら、希望者にお分けしようと思っているが、今のところそれほど数年後にはお分けできない数ではない。

鉢の中には、「点光」、「弱光」、「中光」、「強光」、「スーパードヒカリ」の「ミユキ」

が涼しげに目を楽しましてくれている。ご来寺の際は是非ご覧頂いて、何の光のメダカか当てて頂きたい。